

1:1500

しらかわ 配置図



しらかわ 南西側立面図 1/400



地域交流施設

便所

便所

玄関



地域交流拠点

しらかわ平面図 1/100 地域交流スペース面積：169.00㎡



①交流拠点外観



②交流拠点玄関



③交流拠点外観



④交流拠点外観（右側）



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	明治校区	交流拠点名	じゃんぐるジム
		法人名	(社福)それいゆ

【施設概要】

1.	開設年月	平成17年1月開設	
2.	整備手法	新規建設	法人・事業所の既存部分を活用
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:1000万円(うち補助金額750万円)	
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	有	
	有の場合:交流拠点と同一敷地内にあるもの 地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか その理由:校区の中心地で、駐車場も確保している。	介護老人福祉施設、グループホーム、ケアハウス 訪れやすいと思う	
3.	運営に関わる主なスタッフ数	未回答	
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先
	1人目	専任	健康運動実践指導者
	2人目	専任	介護福祉士
	3人目	兼任	看護師
	4人目	兼任	社会福祉士
5.	平成21年度の運営費	収入:362万円	支出:128万円
	交流拠点の家賃	家賃なし	

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合
	5	604	8024	1:4:0:0
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合	参加者の流動性	固定, ほぼ固定, 流動
7.	開館方法	事業や活動の有無にかかわらず一定時間、オープンしている。		
	開館曜日	月～日	開館時間	9:00～18:00
8.	開館時の職員の常駐場所	地域交流		
	毎月の延利用者数	約630名	利用者数の増減	利用者数は増加傾向 メンバーは広がり、利用者数も増加している
	大牟田市委託事業(よかば～い体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施している
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			有
	名称)筋カトレーニング じゃんぐるジム			
	独自の交流拠点事業			実施している
	対象者)高齢者向け、多世代向け		参加形式)事前登録制・事前登録不要の双方ともあり	
	住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約が必要・空いていれば利用可
	不定期の利用回数			4回/月
	常時運営している有料のレストランや食事処			無
	提供内容			利用者数
	お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場			有
	提供内容	未回答		利用者数
ボランティアの参加の有無		有	延ボランティア数	
送迎の有無			有	
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有	

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民にとってもよく知られている交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成している	
	地域交流施設やグループ内の医療福祉機関に掲示・持ち帰り可能ホームページへの掲載			
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー			有
	人数	約7名	校区活動経験	経験豊富
	校区での立場	校区社協長		
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人			
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	37の地域交流施設のなかでは、連携ができていない交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	地域のおまつり・季節行事等の企画に協力したり、出店したりしている地域交流施設や法人で必要なものを校区内の商店で購入している			
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成していない	
15.	校区住民に運営にかかわってもらっていること			
	事業者側が主催する各種事業でボランティアとしてかかわってもらっている。併設の小規模多機能等の運営推進会議に住民側が入り交流施設について話しあう。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	検討に至っていない		
	小サロンの数		場所	
	開催数		運営主体	

【地区住民のポテンシャル】

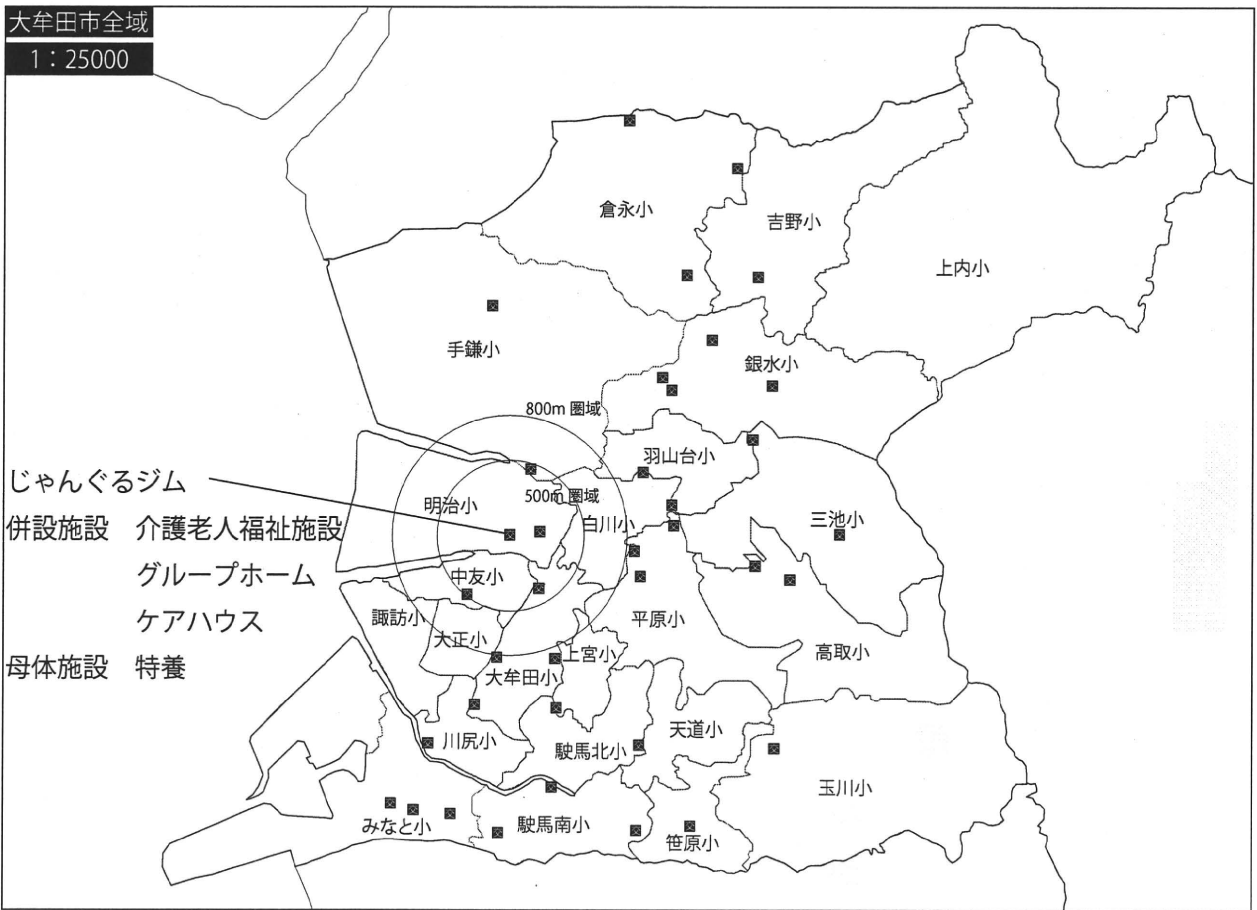
17.	地区校区の住民活動について			
	22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動が活発である			
18.	校区の住民活動について			
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携がある			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか			無

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	無	有の場合		
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか サービス向上、長期的な経営改善、双方に寄与すると思う。			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について			
	交流拠点の各種事業への積極的な取り組みを行っていると思う。			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	収支が合うような方策を考えてほしい			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	未回答			

大牟田市全域

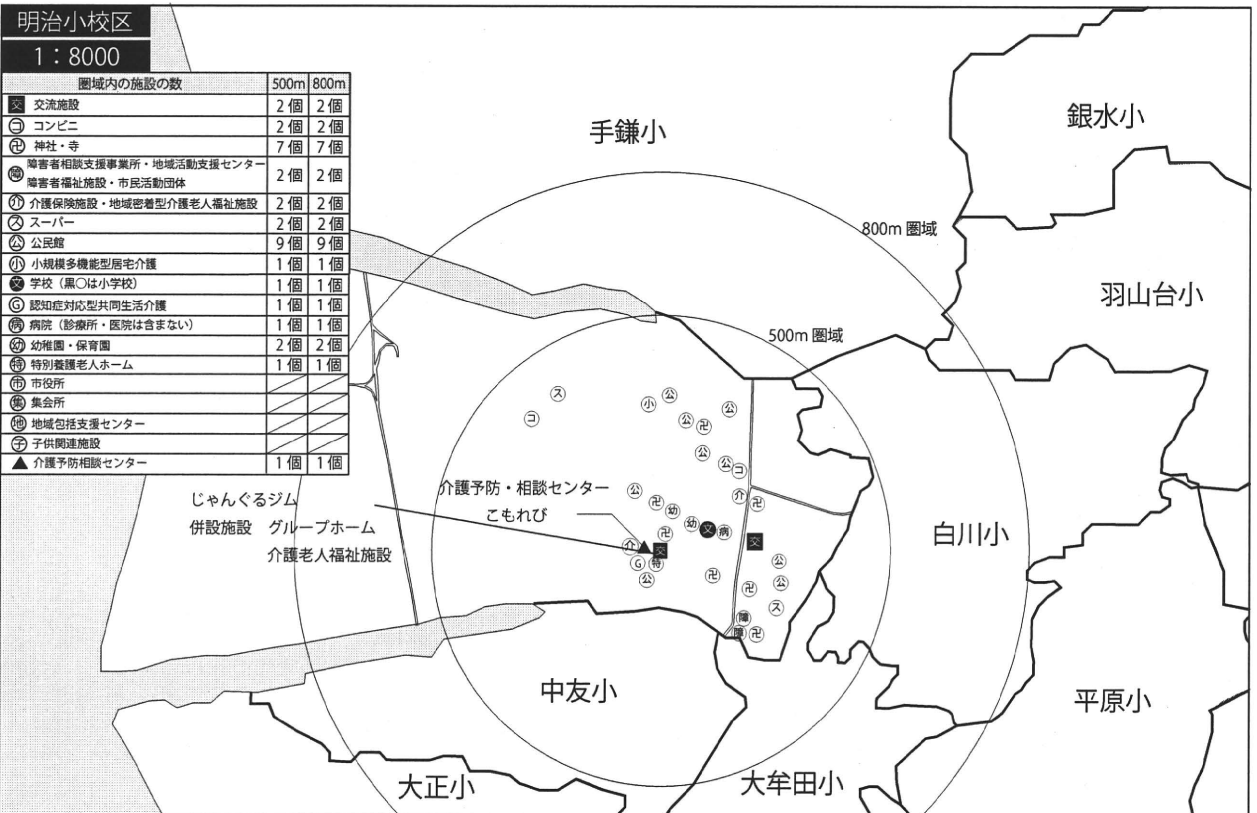
1 : 25000



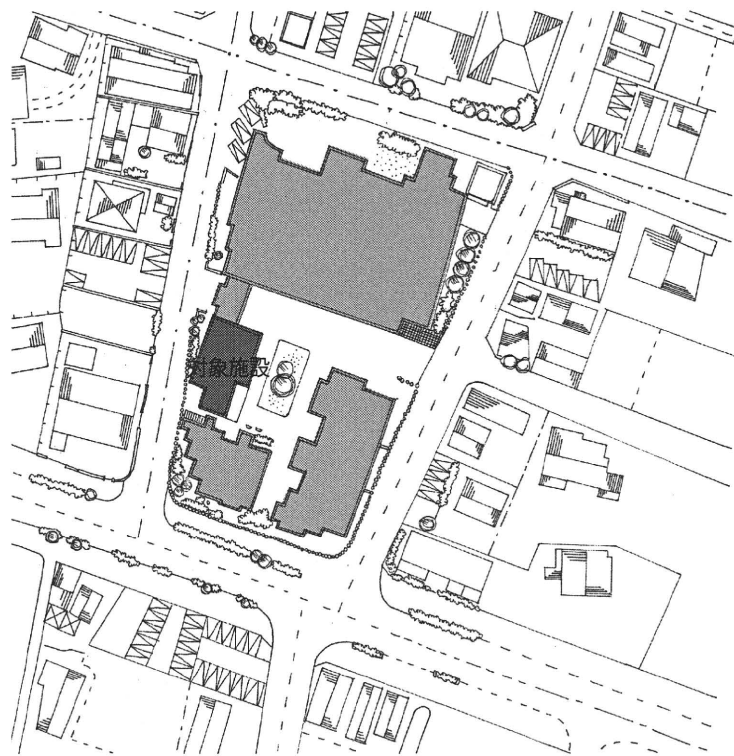
明治小学校区

1 : 8000

圏域内の施設の数	500m	800m
交流施設	2個	2個
コンビニ	2個	2個
神社・寺	7個	7個
障害者相談支援事業所・地域活動支援センター	2個	2個
障害者福祉施設・市民活動団体	2個	2個
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設	2個	2個
スーパー	2個	2個
公民館	9個	9個
小規模多機能型居宅介護	1個	1個
学校 (黒○は小学校)	1個	1個
認知症対応型共同生活介護	1個	1個
病院 (診療所・医院は含まない)	1個	1個
幼稚園・保育園	2個	2個
特別養護老人ホーム	1個	1個
市役所		
集会所		
地域包括支援センター		
子供関連施設		
介護予防相談センター	1個	1個

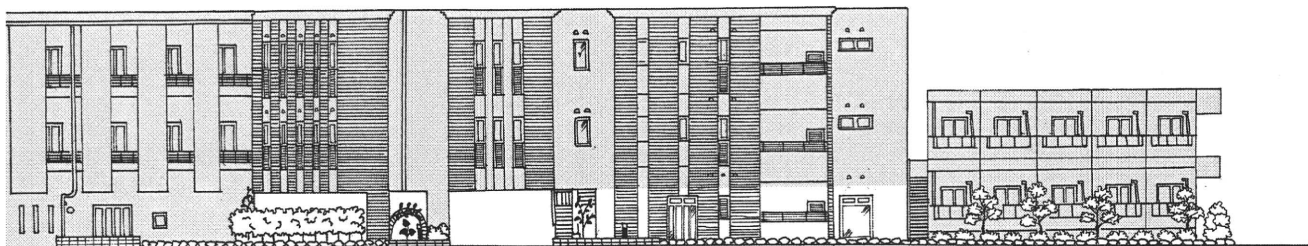


人口	5257人	老人クラブ加入率	6.87%
65歳以上の高齢者数	1617人	公民館加入率	27.6%
単身高齢者世帯数	550人	投票率	54.2%

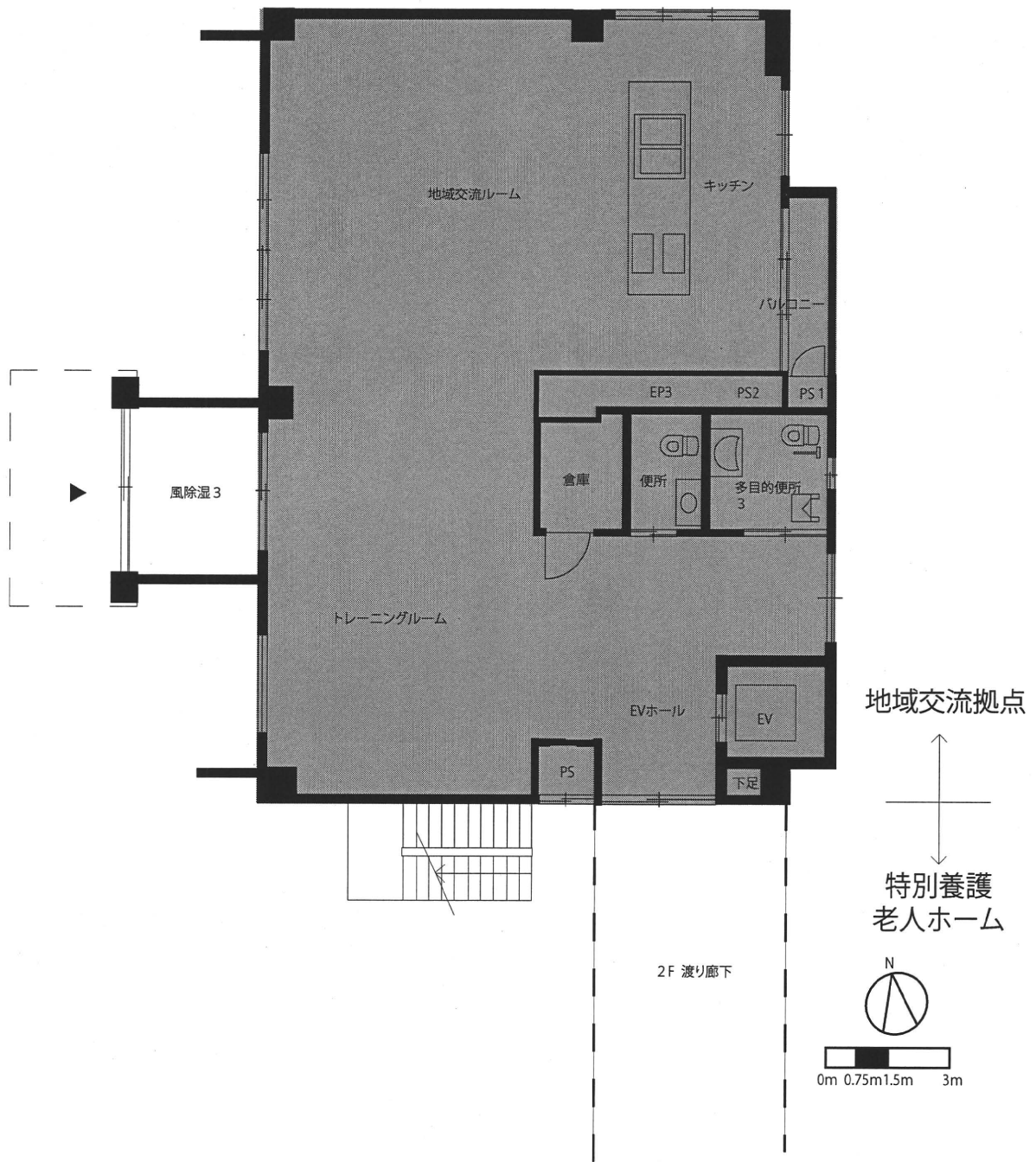


1:1500

じゃんぐるジム 配置図



じゃんぐるジム 西側立面図 1/400



地域交流スペース面積：86.56㎡

じゃんぐるジム平面図 1/150



①交流拠点入口



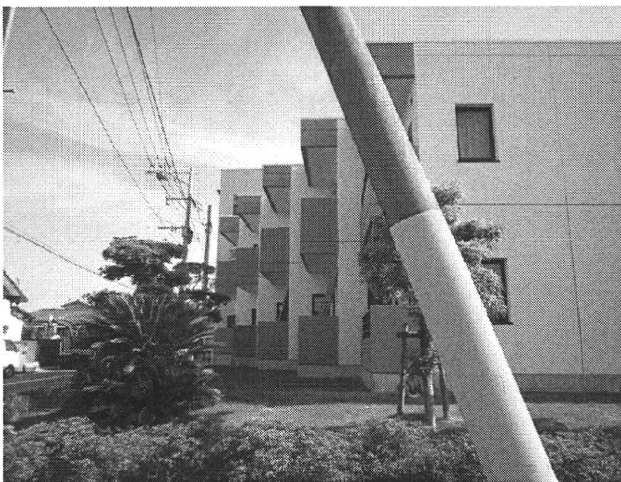
②交流拠点玄関 道路側から



③交流拠点外観



④交流拠点外観（右側）



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	明治校区	交流拠点名	地域交流プラザ すまいる
		法人名	(医)悠久会

【施設概要】

1.	開設年月	平成19年4月開設	
2.	整備手法	新規建設	
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:1064万円(うち補助金額750万円)	
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	有	
	有の場合:交流拠点と同一敷地内にあるもの	訪問看護ステーション	
3.	地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか	訪れやすいと思う	
	その理由:病院・郵便局・駐車場が近隣にある為		
	運営に関わる主なスタッフ数	5名	
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先
	1人目 兼任	看護師	法人内施設との兼務
	2人目 兼任	看護師	法人内施設との兼務
	3人目 兼任	看護師	法人内施設との兼務
	4人目 兼任	看護師	法人内施設との兼務
5.	平成21年度の運営費	収入:12万円	支出:116万円
	交流拠点の家賃	家賃あり 3万円/月	

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合
	7	190	1212	1:5:1:0
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合		参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動
8.	6:1	6:0:1		6:0:1
	定期的な活動は、市からの委託事業である歯にかみ教室と、法人主体の活動である陶芸教室、フラワーアレンジメント教室、パッチワーク教室などある。1回あたりの参加者数は10名前後であり、地域の高齢者を対象とした事業が大半を占める。			
	開館方法	事業や活動の有無にかかわらず一定時間、オープンしている。		
	開館曜日	月～金	開館時間	9:00～17:00
	開館時の職員の常駐場所	併設施設		
	毎月の延利用者数	約104名	利用者数の増減	利用者数は横ばい
	大牟田市委託事業(よかば～い体操、歯にかみ教室)の実施状況		実施している	
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無		無	
	名称)	独自の交流拠点事業		
	実施している			
対象者)高齢者向け、多世代向け		参加形式)事前登録制		
住民による校区活動やサークル活動時の利用形態		事前予約が必要・空いていれば利用可		
不定期の利用回数		1回/月		
常時運営している有料のレストランや食事処		無		
提供内容	利用者数			
お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場		無		
提供内容	利用者数			
ボランティアの参加の有無	有	延ボランティア数	約153名/月	
送迎の有無		無		
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)		有		

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民に知られている交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成している	
	地域交流施設やグループ内の医療福祉機関に掲示・持ち帰り可能			
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー			有
	人数	約3名	校区活動経験	経験豊富
	校区での立場	ボランティア、一般住民		
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人			
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	37の地域交流施設のなかでは、連携があまりできていない交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	地域交流施設や法人で必要なものを校区内の商店で購入している			
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成していない	
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること			
	事業者側が主催する各種事業でボランティアとしてかかわってもらっている。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	検討に至っていない		
	小サロンの数		場所	
	開催数		運営主体	

【地区住民のポテンシャル】

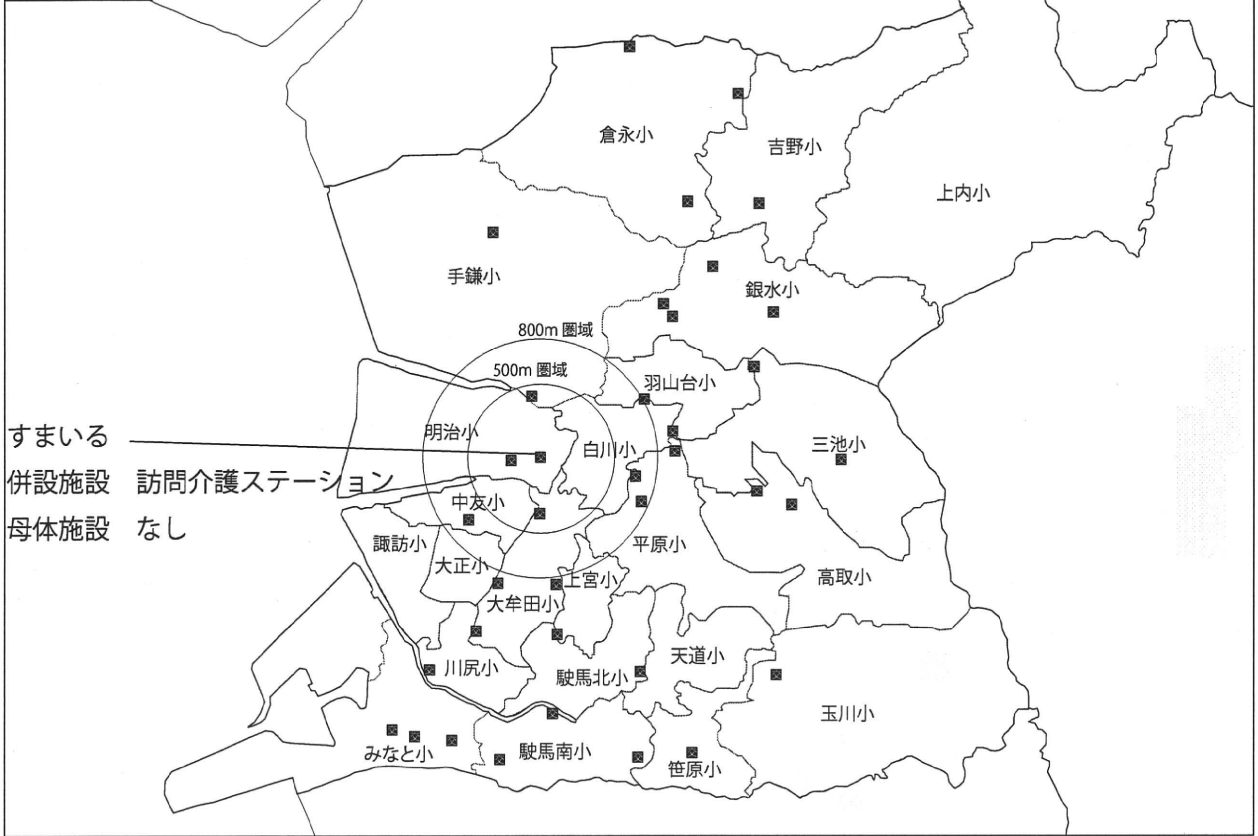
17.	地区校区の住民活動について			
	22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動があまり活発ではない			
18.	校区の住民活動について			
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携があまりない			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか			有
	有の場合:どのような手順を踏んで支援に結びつけましたか すまいるの陶芸教室に参加されている方に、時間や曜日の間違い等がみられ北部地域包括支援センターへつないだ。			

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	無	有の場合		
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか サービス向上、長期的な経営改善、双方に寄与すると思う。			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について 必要性は認識しているが積極的に取り組んでいるとは言い難いと思う。			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	未回答			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	未回答			

大牟田市全域

1:25000



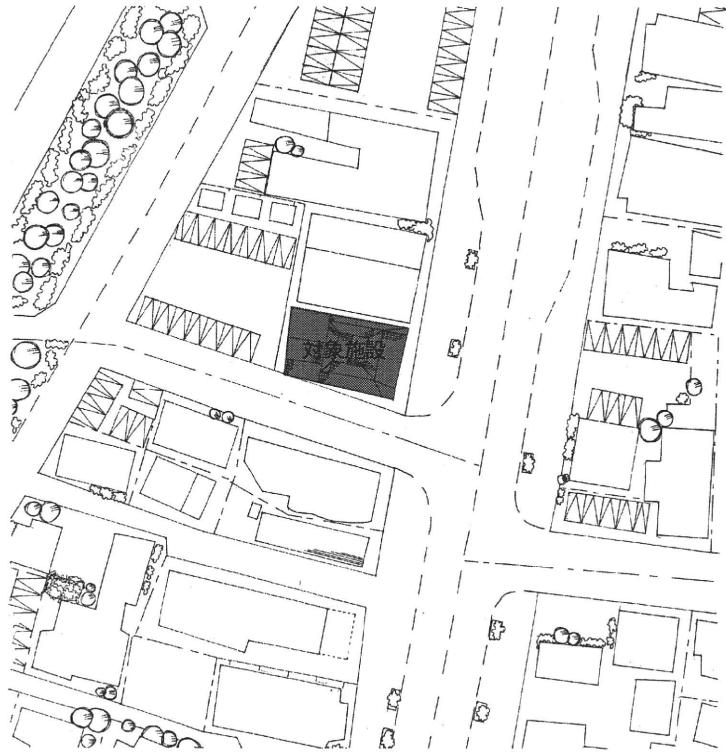
明治小校区

1:8000

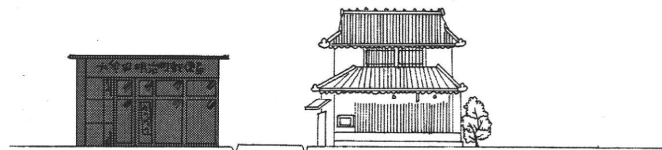
圏域内の施設の数	500m	800m
交流施設	2個	2個
コンビニ	1個	2個
神社・寺	7個	7個
障害者相談支援事業所・地域活動支援センター	2個	2個
障害者福祉施設・市民活動団体	2個	2個
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設	2個	2個
スーパー	1個	2個
公民館	9個	9個
小規模多機能型居宅介護	1個	1個
学校 (黒○は小学校)	1個	1個
認知症対応型共同生活介護	1個	1個
病院 (診療所、医院は含まない)	1個	1個
幼稚園・保育園	2個	2個
特別養護老人ホーム	1個	1個
市役所		
集会所		
地域包括支援センター		
子供関連施設		
介護予防相談センター	1個	1個



人口	5257人	老人クラブ加入率	6.87%
65歳以上の高齢者数	1617人	公民館加入率	27.6%
単身高齢者世帯数	550人	投票率	54.2%



すまいる 配置図

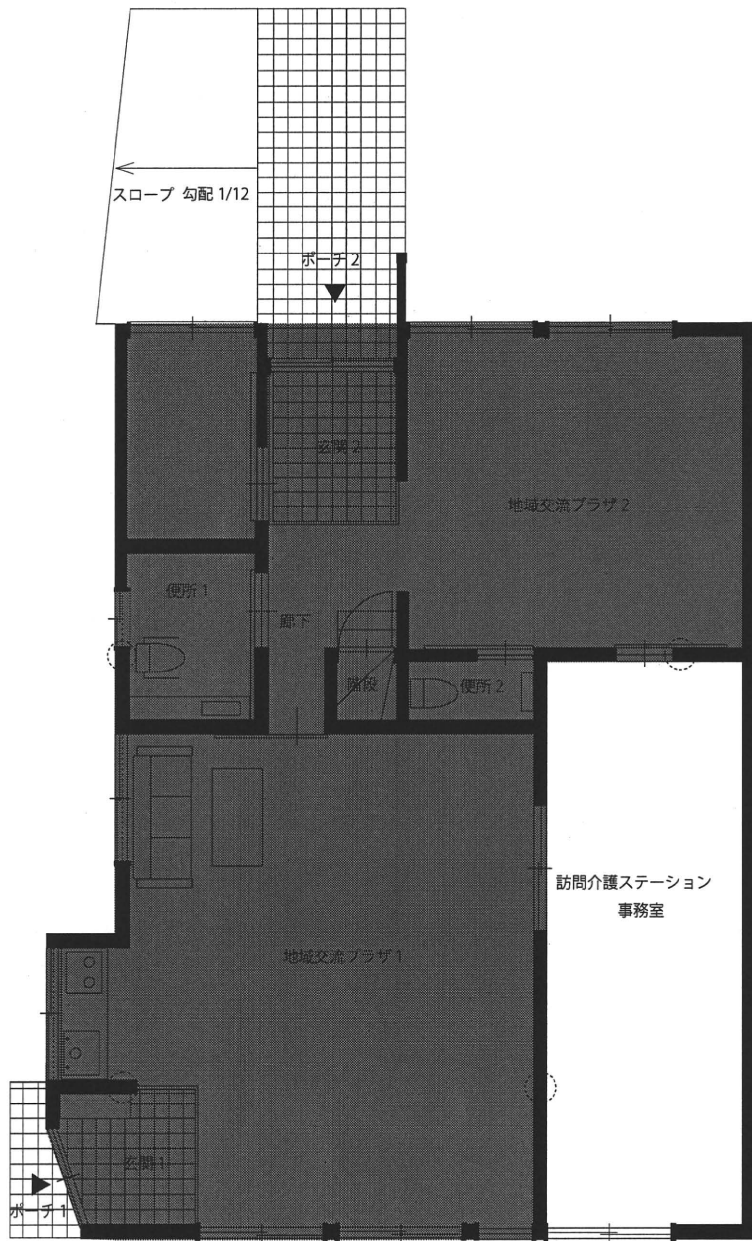


東側 立面図

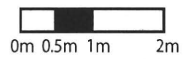


南側 立面図

すまいる 立面図 1/400



地域交流拠点 ← ————— → 訪問介護ステーション



地域交流スペース面積：41.95㎡

すまいる平面図 1/100



①交流拠点外観



②交流拠点外観



③交流拠点外観



④交流拠点外観 右端が交流拠点



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	大牟田校区	交流拠点名	街かど福祉人の駅 よらんかん
		法人名	築町商店街振興組合

【施設概要】

1.	開設年月	平成18年5月開設		
2.	整備手法	法人・事業所の既存部分を活用		
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:1000万円(うち補助金額750万円)		
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	有		
	有の場合:交流拠点と同一敷地内にあるもの	食事処、アンテナショップ		
3.	地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか	訪れやすいと思う		
	その理由:併設の機能が日常生活につながっているから。			
	運営に関わる主なスタッフ数	5名		
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先	
	1人目	専任	なし	
	2人目	兼任	なし	食事処担当との兼務
	3人目	兼任	なし	食事処担当との兼務
	4人目	専任・兼任	なし	パートとの兼務
5.	平成21年度の運営費	収入:372万円	支出:352万円	
	交流拠点の家賃	家賃あり 7万円/月		

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合
	10	271	2294	0:8:1:1
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合		参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動
7.	6:3	2:0:7		5:2:2
	開館方法	事業や活動の有無にかかわらず一定時間、オープンしている。		
	開館曜日	月～土 変更あり	開館時間	9:00～19:00
	開館時の職員の常駐場所	施設内		
	毎月の延利用者数	約200名	利用者数の増減	利用者数は増加傾向 メンバーは広がり、利用者数も増加している
	大牟田市委託事業(よかば〜い体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施していない
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			無
	名称)			
	独自の交流拠点事業			実施している
	対象者)多世代向け	参加形式)事前登録制・事前登録不要の双方ともあり		
8.	住民による校区活動やサークル活動時の利用形態		事前予約が必要・空いていれば利用可	
	不定期の利用回数		2回/月	
	常時運営している有料のレストランや食事処		有	
	提供内容	食事+喫茶	利用者数	約10名/日
	お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場			無
	提供内容			利用者数
	ボランティアの参加の有無	有	延ボランティア数	約15名/月
	送迎の有無			有
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有	

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民に知られている交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成している	
	来店者、会員等に配布			
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー		無(該当者はあり)	
	人数	校区活動の経験		
	校区での立場			
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人		商店街組合員	
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	37の地域交流施設のなかでは、連携が全くできていない交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	地域のおまつり・季節行事等の企画に協力したり、出店したりしている商店組合に加入している			
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成していない	
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること			
	校区住民に対してアプローチではなく、市内全域にアプローチしている。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	検討に至っていない		
	小サロンの数	場所		
	開催数	運営主体		

【地区住民のポテンシャル】

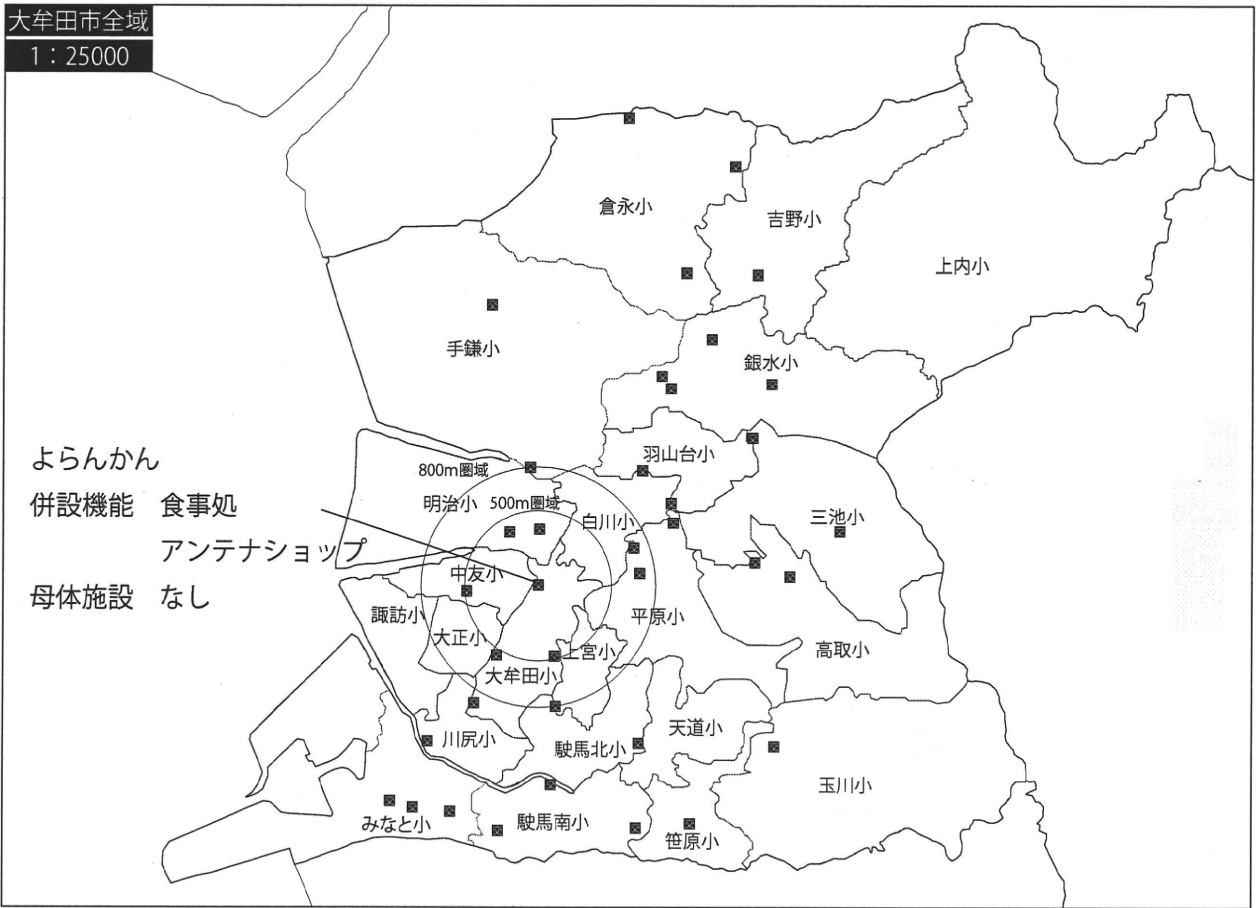
17.	地区校区の住民活動について			
	校区とのつながりが無いのでわからない。			
18.	校区の住民活動について			
	22校区の中で公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携が全くない			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか		有	
	有の場合:どのような手順を踏んで支援に結びつけましたか 福祉相談で認知症のうたがいのある方の家族に対応			

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	無	有の場合		
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか サービス向上にのみ寄与すると思う			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について 交流拠点の各種事業への積極的な取り組みを行っていると思う。			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	未回答			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	未回答			

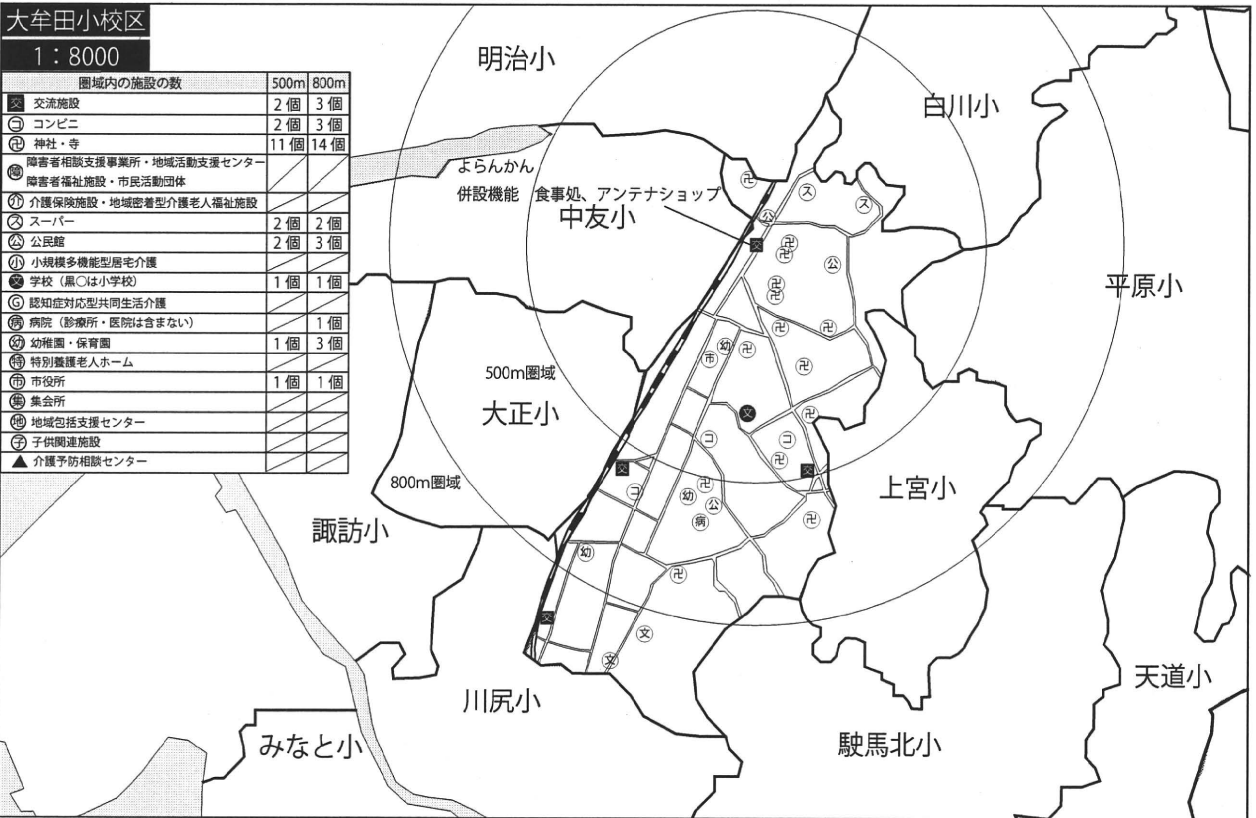
大牟田市全域

1 : 25000



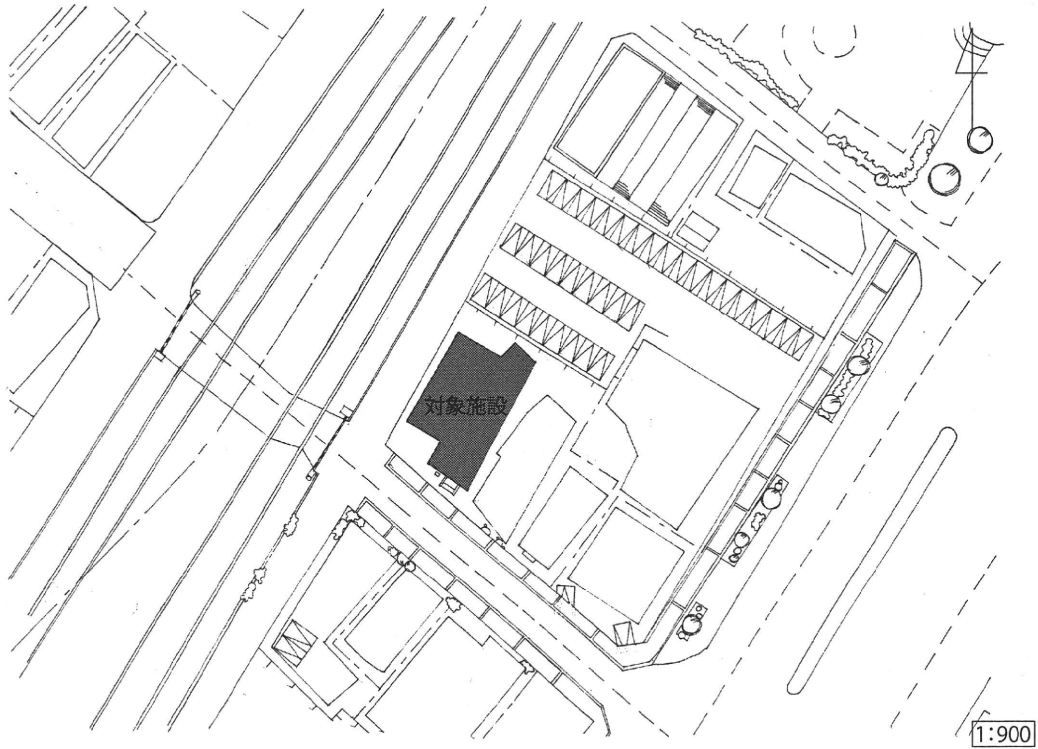
大牟田小学校区

1 : 8000



圏域内の施設の数	500m	800m
交流施設	2個	3個
コンビニ	2個	3個
神社・寺	11個	14個
障害者相談支援事業所・地域活動支援センター		
障害者福祉施設・市民活動団体		
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設		
スーパー	2個	2個
公民館	2個	3個
小規模多機能型居宅介護		
学校 (黒○は小学校)	1個	1個
認知症対応型共同生活介護		
病院 (診療所・医院は含まない)		1個
幼稚園・保育園	1個	3個
特別養護老人ホーム		
市役所	1個	1個
集会所		
地域包括支援センター		
子供関連施設		
▲介護予防相談センター		

人口	9932人	老人クラブ加入率	5.39%
65歳以上の高齢者数	613人	公民館加入率	49%
単身高齢者世帯数	446人	投票率	58.3%



よらんかん 配置図

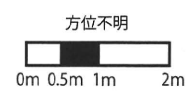
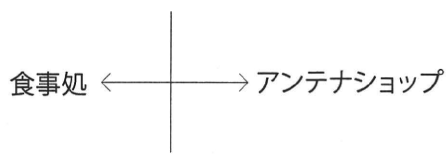
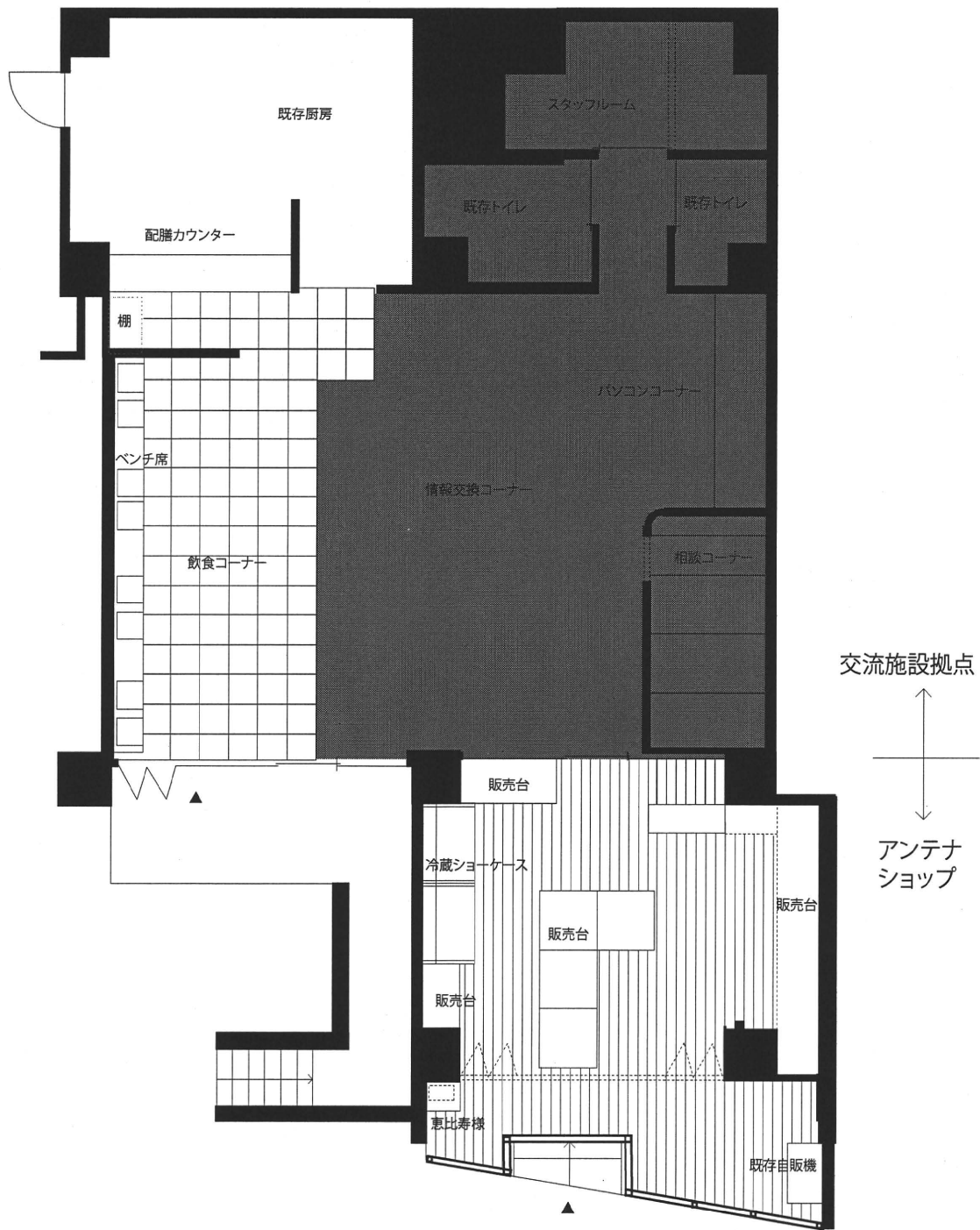


南西側 立面図



北東側 立面図

よらんかん 立面図 1/400



よらんかん平面図 1/100

地域交流スペース面積：76.06㎡